

<目次>

- ・ 巻頭言 貝塚茂樹 01

【研究論文】

- ・ 道徳性の再検討
—統合的発達モデルのシステマティックレビュー—
浅部航太 03
- ・ 近代日本の道徳教育における「作法」の意義
—明治期の「作法」教授に関する思想から—
服部圭祐 15

【研究ノート】

- ・ コンピテンシー志向に基づくドイツ NRW 州の実践哲学科からの道徳科への示唆
齋藤道子 27
- ・ 道徳科の学びを道徳的行動に接続する研究の動向と課題
曾根原和明 39
- ・ 日本の教師による「困難な歴史」の教育実践をめぐる意識と課題
—アンケート調査からの考察—
原口友輝・空健太樹 51

【特集 諸外国の道徳教育】

- ・ 道徳教育の国際比較研究に向けて
—OECD Education 2030 の成果から—
西野真由美 65
- ・ 韓国道徳科教育の現在
—「2022 改訂教育課程」の目標と内容を中心に—
関根明伸 75

- ・モンゴルにおける「公民倫理教育」のカリキュラム分析
—情動知能の視点からみた構造と課題—

Bayasgalan Oyuntsetseg 85

- ・台湾の道德教育

山田美香 97

- ・「国際協力」を自分事として捉える中学校道德科の授業デザイン
—ゲスト講話を基軸とした教科等横断的アプローチ—

星美由紀 107

【書評】

- ・河野誠哉著

『個性幻想—教育的価値の歴史社会学—』

小池孝範 119

- ・道德教育フロンティア研究会編

『新・道德教育はいかにあるべきか』

—道德教育学の構築／次期学習指導要領への提言』

吉田誠 121

- ・M. トマセロ著，高橋洋訳

『行為主体性の進化—生物はいかに「意思」を獲得したのか』

荒木寿友 123

高宮正貴・椋木香子・鈴木宏編著

『道德科「内容項目」を問い直す！ 道德授業づくりハンドブック』

澤田浩一 126

【大会報告】

- ・日本道德教育学会第105回（令和7年度春季）大会

国士舘大学

基調講演・ラウンドテーブル・自由研究発表・シンポジウム

129

・ 日本道德教育学会第 106 回（令和 7 年度秋季）大会 岐阜大学 公開授業・基調講演・ラウンドテーブル・シンポジウム	147
【日本道德教育学会会則】	166
【編集後記】	185
【入会届】	186